

# **東北の新しい旅行スタイル創出事業**

## **業務仕様書**

**（一社）東北観光推進機構**

# 東北の新しい旅行スタイル創出事業 業務仕様書

## 1. 事業の名称

東北の新しい旅行スタイル創出事業

## 2. 業務の目的

一般社団法人東北観光推進機構（以下、「東観推」という。）がマネジメントする東北 6 県・新潟県には、ポテンシャルのある観光素材が四季・テーマに応じて広範囲に多数点在しているが、二次交通や公共交通機関が脆弱なエリアに存在するためターゲットのニーズに応じた周遊型旅行商品として造成・訴求できていない。

そこで、東観推では以下の各項の取組を軸に、東北 6 県・新潟県を訪れる旅行者数の増加を目指す。

- (1) 観光素材・観光コンテンツの掘起し、磨き上げ、受入れ体制整備の支援、コンテンツ造成
  - (2) 観光コンテンツを盛り込んだ周遊型ドライブルート（以下、「DR」という）および旅行商品の造成
  - (3) Base! TOHOKU（以下、「BT」という※後述）宿泊プランおよび滞在型モデルコースの造成
  - (4) DR 特設ページの新規構築、BT 特設ページの改修および、観光コンテンツ・周遊ドライブルート・滞在モデルコース・旅行商品の掲載
  - (5) 観光コンテンツ・周遊ルート・旅行商品を流通させるための販路の構築と商談会の実施、情報発信
- 以上を実施し、2021 年度より展開している BT 事業を拡大することで相乗効果を狙い、東北を訪れる旅行者数の増加に取り組む。

### ※「Base ! TOHOKU」事業

2021 年より東観推にて展開している連泊滞在を促進する事業。

連泊商品の拡充や、対象地域周辺の観光コンテンツの掘起し・造成・磨き上げを行っている。

2023 年度では事業開始 3 年目として訪日客への利用促進を強化する。

## 3. 履行期限

契約締結の日から 2024 年 2 月 29 日（木）まで

## 4. 業務内容

### (1) 観光スポット情報の整備、観光資源（観光コンテンツ）の掘起し・造成・磨き上げ

#### ① 【DR】コンテンツ集約、造成・磨き上げ

- (ア) 東北の「四季」、「自然」、「歴史文化」、「食」等をテーマに、ドライブ旅行の目的となりうる観光スポット、飲食店、お土産店等の既存コンテンツを収集・整理を行い、テーマ別に情報整備を実施すること。
- (イ) ターゲット属性別、テーマ別に旅の目的となる滞在型コンテンツを新規造成、または既存コンテンツの磨き上げを実施すること。

② 【BT】運営体制組成、コンテンツ集約、造成・磨き上げ

(ア) 東観推の BT 事業の新規実証モデル地区においては、東観推と連携のうえ宿泊施設・観光協会・観光地域づくり法人（DMO）・旅行会社・観光コンテンツ提供事業者等の関係者による運営組織・会議体を組成・合意形成を行い、既存実証モデル地域においては、継続的な販売体制を維持向上させるために伴走支援をおこなうこと。

(イ) 観光コンテンツ磨き上げ、造成を目的として必要に応じて目指す姿（ビジョン）の見立て、関係性構築等に関する現地モニタリング、ワークショップ、検討会を実施すること。

③ 【共通】

上記に必要な各事業者との調整業務を行うこと。

<新規実証モデル地域>

(ア) 青森県：津軽地域

(イ) 福島県：いわき湯本温泉郷

<既存実証モデル地域>

(ア) 青森県：浅虫温泉、奥入瀬渓流温泉

(イ) 岩手県：花巻温泉郷、つなぎ温泉、八幡平温泉郷

(ウ) 宮城県：秋保温泉・作並温泉、松島温泉

(エ) 秋田県：田沢湖高原温泉郷・水沢温泉郷・乳頭温泉、男鹿温泉

(オ) 山形県：天童温泉、蔵王温泉

(カ) 福島県：土湯温泉・高湯温泉・飯坂温泉、東山・芦ノ牧温泉

(キ) 新潟県：岩室温泉、月岡温泉

(2) DR および BT 滞在型モデルコースの造成

① 【DR】ドライブルートの造成

青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島・新潟の新幹線駅や空港を起点とした東北の「四季」「自然」「歴史文化」「食」等をテーマに周遊ドライブルートを造成すること。

② 【BT】滞在型モデルコースの造成

過去に既存実証モデル地域にて作成し、旅東北サイトに掲載の BT 向け滞在型モデルコースを参考（※参照）に、新規実証モデル地区にて造成・磨き上げたコンテンツを用いた連泊向け滞在型モデルコースを造成すること。

※ [https://www.tohokukanko.jp/itineraries/index\\_1\\_2\\_159\\_\\_\\_\\_\\_html](https://www.tohokukanko.jp/itineraries/index_1_2_159_____html)

③ 【共通】

(ア) ①、②の造成においては、モニターツアーの実施を行い、専門家の意見等を反映させること。

(イ) 上記に必要な各事業者との調整業務を行うこと。

(3) 特設ページの構築・改修および観光コンテンツの掲載

① 【DR】特設ページ構築

(ア) 特設ページを新規に構築のうえ、周遊ルートおよび厳選した観光コンテンツを掲載し、多言語翻訳すること。

(イ) DR 特設ページおよびプロモーションで使用されるロゴマークのデザイン作成すること。

② 【BT】特設ページ改修

(ア) 既設の BT 特設ページに対して、情報更新および多言語化の改修を実施し、新規モデル実証地区における滞在モデルコース掲載およびマイマップ機能の装備を行うこと。

(イ) BT 特設ページには、実証モデル地域を旅の目的地と選定するために必要な地域の魅力、観光スポット情報、ターゲット属性のニーズに即したモデルコース等について、地域ごとに整備すること。

③ 【共通】

(ア) 磨き上げ、造成された観光コンテンツ情報について、既設の旅東北サイトへ格納、情報更新を行い、周遊ドライブルート特設ページおよび Base! TOHOKU 特設ページより接続されること。

(イ) ①②の特設ページから OTA 販売サイト等への相互リンク、バナー広告等で販路へ誘導すること。

(4) BT 宿泊プランの造成・販売支援

- ① BT 事業の実証モデル地域の宿泊施設と連携し、「Base! TOHOKU～さあ、豊かさの最前線へ～」を冠した連泊プランを造成し、連泊プランの説明欄には(3)に記載の観光スポット・体験コンテンツ等を明記し、連泊数の増加促進を図るとともに、主要な旅行会社・OTA サイトへ宿泊プランを掲載し販売すること。
- ② 参画している旅行会社・OTA に対し、実証モデル地域の観光スポット情報・滞在型コンテンツ情報を提供するとともに、販売開始後は、「売れ筋ツアー」「売れ筋コンテンツ」などの販売情報を提供するなど、旅行会社等の商品造成を支援・促進すること。
- ③ 各社販売実績を毎月集約し報告すること。

(5) 旅行商品、観光コンテンツを流通させるための販路の構築と商談会の実施、特設ページの情報発信プラットフォームの活用

- ① 造成された観光コンテンツ・旅行商品を、ターゲット市場別に強い OTA へ掲載・販売すること。
- ② 販路構築のため、在日の旅行会社・ランドオペレーター（対象市場は国内外共）と地域事業者（コンテンツ提供事業者・DMO・観光協会・宿泊施設・交通事業者等）による商談会を実施すること。  
商談会はハイブリッド型とし、それに必要な機材や対応者を準備すること。
- ③ 情報発信プラットフォームへ誘導するために、メディアを活用した記事配信、OTA 会員向けの情報発信や SNS 等を活用した情報配信、ポスター、パンフレットの制作等、効果的なプロモーションを実施すること。
- ④ 旅行者へ旅ナカ情報を提示するために、必要な情報整備、BT ポップおよび QR カード等のツールを活用し、BT 特設ページへの誘導體制を整備すること。また、実装にあたっては、宿泊施設の従業員向けに必要なセミナー等の情報共有の取組を実施すること。なお、情報提示にあたっては、③に記載の情報発信プラットフォームを活用すること。
- ⑤ アクセス解析等を行うことで PDCA サイクルを回し、必要に応じてコンテンツの強化、モデルルートの強化等を行うこと。

## 5. 成果指標

### (1) DR の造成、観光スポット情報の整備、磨き上げ

#### ① アウトプット成果指標：

- (ア) DMP・CRM によるデータ分析（目標 5 件）
- (イ) 観光コンテンツの掘起し件数（目標 210 件）
- (ウ) 課題抽出のためのモニタリング（目標 7 回）
- (エ) 関係事業者との検討会（目標 7 回）
- (オ) コンテンツ造成のためのワークショップ（目標 7 回）
- (カ) 滞在型コンテンツ造成件数（目標 7 件）
- (キ) モデルコースの造成件数（目標 7 件）
- (ク) モニターツアー実施回数（目標 7 回）

#### ② アウトカム成果指標：

- (ア) 滞在型コンテンツの参加者数（目標 100 人）
- (イ) 上記売上額（目標 200,000 円）

### (2) DR 特設サイトの構築・翻訳・データ登録格納

#### ① アウトプット成果指標：

- (ア) 観光資源の詳細情報のデータ化軒数（目標 105 件）
- (イ) DR 特設ページ（目標 1 式/5 言語（英語・繁体字・簡体字・韓国語・タイ語））

#### ② アウトカム成果指標：

- (ア) 特設サイト目標（目標 訪問 UU 数：3,000 人、サイト PV 数：100,000PV）

### (3) DR 向けレンタカーパッケージ商品・観光コンテンツの造成、販路構築

#### ① アウトプット成果指標：

- (ア) 商談会実施回数（目標 2 回）※ 2 回ともハイブリッド型開催を想定すること
- (イ) 商談会参加事業者数（目標 旅行会社 20 社、ランドオペレーター、地域事業者 20 社）
- (ウ) OTA への滞在型コンテンツ掲載数（目標 7 コンテンツ）※ OTA 上でのプロモーション含む
- (エ) 旅行商品・宿泊プランの掲載数（目標 7 商品）

#### ② アウトカム成果指標：

- (ア) 旅行商品販売件数（目標 500 件、売上額 17,500,000 円）

### (4) BT 運営組織・会議体の組成及び運営

#### ① アウトプット成果指標：運営組織・会議体の組成新規地域数（目標は 2 地域）

#### ② アウトカム成果指標：宿泊プラン・旅行商品の販売開始新規地域数（目標は 2 地域）

### (5) BT 観光スポット情報の整備、滞在型コンテンツの造成・磨き上げ

#### ① アウトプット成果指標：

- (ア) 観光スポット情報の整備件数（目標 10 件）
- (イ) 滞在型コンテンツの造成・磨き上げ件数（目標 10 件）

② アウトカム成果指標：

滞在型コンテンツの参加者数

(目標 新規モデル実証地域 30 人、既存モデル実証地域 100 人以上)

(6) BT 特設サイト誘導体制整備

① アウトプット成果指標：BT ポップおよび QR カード設置地域数 (目標 2 地域)

② アウトカム成果指標：滞在型コンテンツの参加者数 (目標 新規モデル実証地域 30 人、既存モデル実証地域 100 人/1 地域以上) ※(5)②との合計

(7) BT 宿泊プラン・旅行商品の造成、販路構築

① アウトプット成果指標：

宿泊プラン・旅行商品造成数 (目標 10 商品/1 地域 ※かつ商品販売者が 3 施設以上であること)

② アウトカム成果指標：

(ア) 宿泊人泊数 (目標 新規モデル実証地域 100 人、既存モデル実証地域 300 人泊/1 地域以上)

(イ) 国内旅行者、インバウンド旅行者による連泊数 (目標 20,000 人泊)

(8) BT 情報発信・プロモーション

① アウトプット成果指標：

(ア)特設ページの改修 (目標 1 式)

(イ)特設ページの多言語化 (目標 3 言語 (英・繁・タイ) )

(ウ)プレミアムマイマップ機能導入 (目標 1 式)

(エ)リーフレット制作 (目標 10,000 部/ 2 言語 (英・繁) )

② アウトカム成果指標：

特設サイト目標 (目標 訪問 UU 数：3,000 人、サイト PV 数：100,000PV)

6. 成果物の納品

(1) 納品場所

一般社団法人東北観光推進機構 (宮城県仙台市青葉区一番町二丁目 2 番 13 号 仙建ビル 8 階)

(2) 納品期限

2024 年 2 月 29 日 (木)

(3) 成果物及び納品方法

成果物は域内関係者に広く公開、共有されることを前提に作成し、瑕疵の無い様に十分な精査を行い提出すること。なお、提出方法についてはデジタルデータ (メール送付等) とする。

7. 著作権及び成果物の帰属等

本業務による成果又は成果物の著作権は東観推に帰属するものとし、成果物を自ら使用するために必要な範囲で随時利用できるものとする。

## 8. 業務の履行その他特記事項

- (1) 受託者は、業務に要する機材、消耗品等について準備すること。
- (2) 業務の履行に当たっては、内容を十分理解し東観推と連絡を密に取りながら誠実に履行すること。
- (3) 受託者が業務を遂行する上で必要な資料等については、受託者において入手、準備等すること。また、業務に関する協議等のため要する費用は、受託者の負担とする。
- (4) 本業務について、この仕様書に記載されない事項及び疑義が生じた場合は、東観推と協議の上、決定すること。
- (5) 東観推が必要と判断する場合には、受託者と協議の上、本契約の内容を変更することができるものとする。
- (6) 受託者は、事故や運営上の課題などが発生した場合は速やかに報告すること。
- (7) 受託者は、本業務の処理を他に委託し、又は請け負わせてはならない。ただし、書面により東観推の承諾を得た場合はこの限りでない。
- (8) 受託者は、関係法令を遵守するとともに、個人情報の取扱いを適正に行い、危機管理意識に基づき健全かつ安全に業務執行を図ること。
- (9) 受託者は、この委託契約に係る業務を遂行する上で知り得た情報又は秘密は、承諾を得ることなく第三者に漏らし、又は委託業務以外の目的に使用してはならない。委託期間が終了又は委託契約が解除された後においても同様とする。
- (10) 受託者は、事故や運営上の課題などが発生した場合は速やかに報告すること。
- (11) この委託契約に係る業務遂行にあたり生じた損害は、原則として受託者が負担するものとし責任をもって対処すること。
- (12) 成果品の瑕疵が判明した場合は受託者の責任において適切に対処すること。